

校長室より

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼敦之

「二松から飛翔へ」～ 一期一会 ～

特待生表彰 ～真摯な学びの証し～

2・3年生を対象とした特待生の認証状授与式を行いました。日頃から真摯に学習に向き合い、確かな成果を積み重ねてきた各学年 10 名を表彰しました。特進・進学・理系の各コースにおける成績優良者および校外模試で優秀な成績を収めた生徒たちです。

昨年度に続いて特待生となった者もあり、継続した努力の尊さを改めて感じました。努力は一朝一夕では実を結びません。日々の小さな積み重ねこそが、大きな自信と成果につながっていきます。

私は表彰を受けた皆さんに、「今回の結果に満足することなく、次の一步を」と伝えました。2年生は夢や希望の実現に向けて、目標を決して下げず、地道に努力を積み上げていくこと。3年生は、いよいよ迫る共通テスト・一般選抜に向けて最後のひと踏ん張りを惜しまず挑戦を続けることを期待しています。

そして、毎日の生活を陰で支え続けてくださっている保護者の皆様への感謝も忘れずにいてください。皆さんの努力を一番近くで喜び、励ましてくださる存在です。



受験生「受験なんでも相談会」 ～志望校選びの場づくり～

6 日（土）、中学生向けの「受験なんでも相談会」を実施しました。先月までの学校説明会に来られなかった方も含め、78 組もの参加があり、受験校の最終選択に向けて真剣に情報収集を行う姿が印象的でした。

この時期に本校を訪れてくださる方々は、二松学舎への進路について深く考え、受験の可能性を検討している方々ばかりです。対応した教職員もまた、皆様の不安や疑問に寄り添い、できる限り丁寧に説明しようと努めていました。

中学生の皆さんには、ぜひ自分に合った学校を選び、安心して高校生活をスタートしてほしいと思います。受験生の皆さん、最後の一日まで自分を信じて頑張ってください。私たちも皆さんの「がんばり」を応援しています。



教員研修 ～進路指導の質を高める～



期末試験 2 日目、校内では教員を対象とした進路指導研修会を行いました。ベネッセのご担当者をお招きし、「今後の進路指導を考える」というテーマで講演をいただきました。

スタディーサポートのデータ分析をもとに、生徒の学力の現状や学習傾向、進路希望の特徴などを改めて確認し、指導の方向性を共有しました。生徒がどの時期にどのようなサポートを求め、どのような声かけが効果的なのか、具体例を交えた説明は大変示唆に富むものでした。

さらに、他校の取り組みも紹介され、それぞれが独自に工夫を凝らして生徒の進路支援にあたっていることを知り、大いに刺激を受けました。

教員もまた、生徒の将来をともに考え、ともに歩む存在です。一人ひとりの希望の実現に向けて、引き続き研鑽を重ねてまいります。

年の瀬に思う ～「年賀状」・書くことの価値～

暦は早くも師走を迎えました。年末へ向けて慌ただしさが増し、何かと気忙しい季節となりました。

自宅のパソコンにたまっていたメールを整理していると、「2026 年度 年賀状申し込み」というタイトルのメールが目に入り、ああ、今年もそんな時期になったのだと改めて実感します。

年齢を重ねるにつれ、「年賀状じまい」のお知らせが届くことも増え、かつて教え子から届いた年賀状もめっきり少なくなりました。日常の中で手紙を書く機会が減っている現在ですが、だからこそ年に一度の「書く」という行為は、どこか温かく大切にしたい時間だと感じます。

デジタル化が進み、メールや SNS で用が足りる時代だからこそ、手書きの一言に相手を思う気持ちが宿ります。「お元気ですか」と書き添えるとき、自然とその方の顔が浮かび、短いメッセージの中にもつながりの深さを感じます。忙しい時期ではありますが、ちょっとしたつながりを大切にしながら、清々しい気持ちで新しい年を迎えたいものです。

